

施工説明書

ロングリーン

密結型簡易水洗便器

DX-570

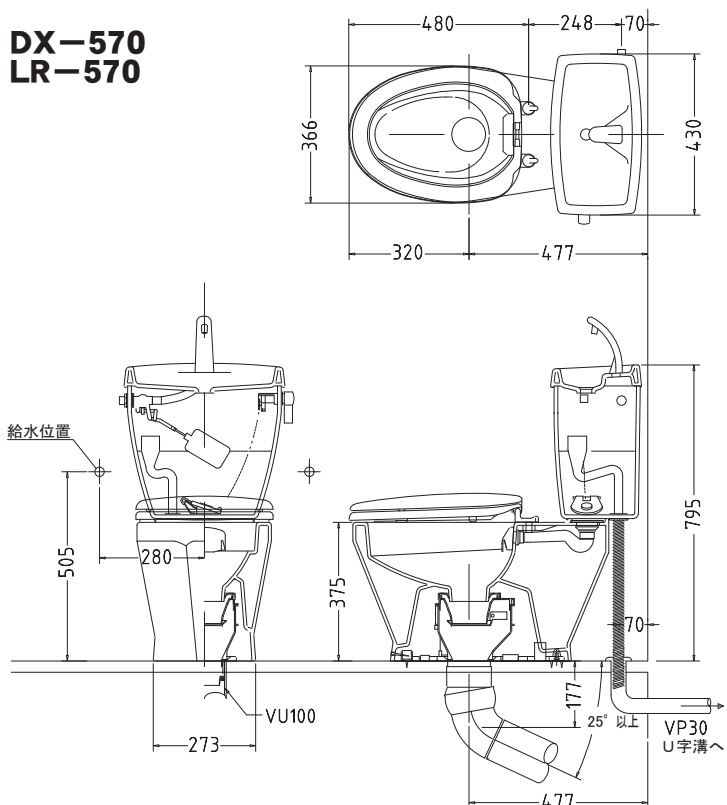
DXP-5070

LR-570（水洗化対応）

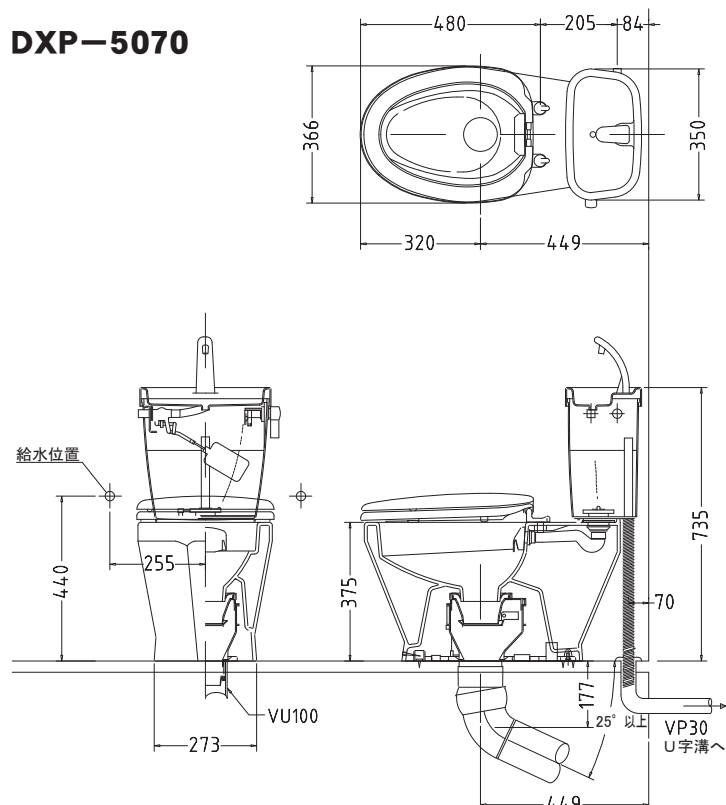
- 陶器は割れ物です。施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
- 水タンク内の余剰水がトイレ室内に流出しないように、必ずオーバーフローをとり、U字溝へ流して下さい。
- 止水栓はセットに含んでおりません。洗浄ノズル付きの機種には専用の止水栓が付いています。
- 止水栓の調整と施工後の漏水検査を必ず行ってください。
- お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

1. 設計図

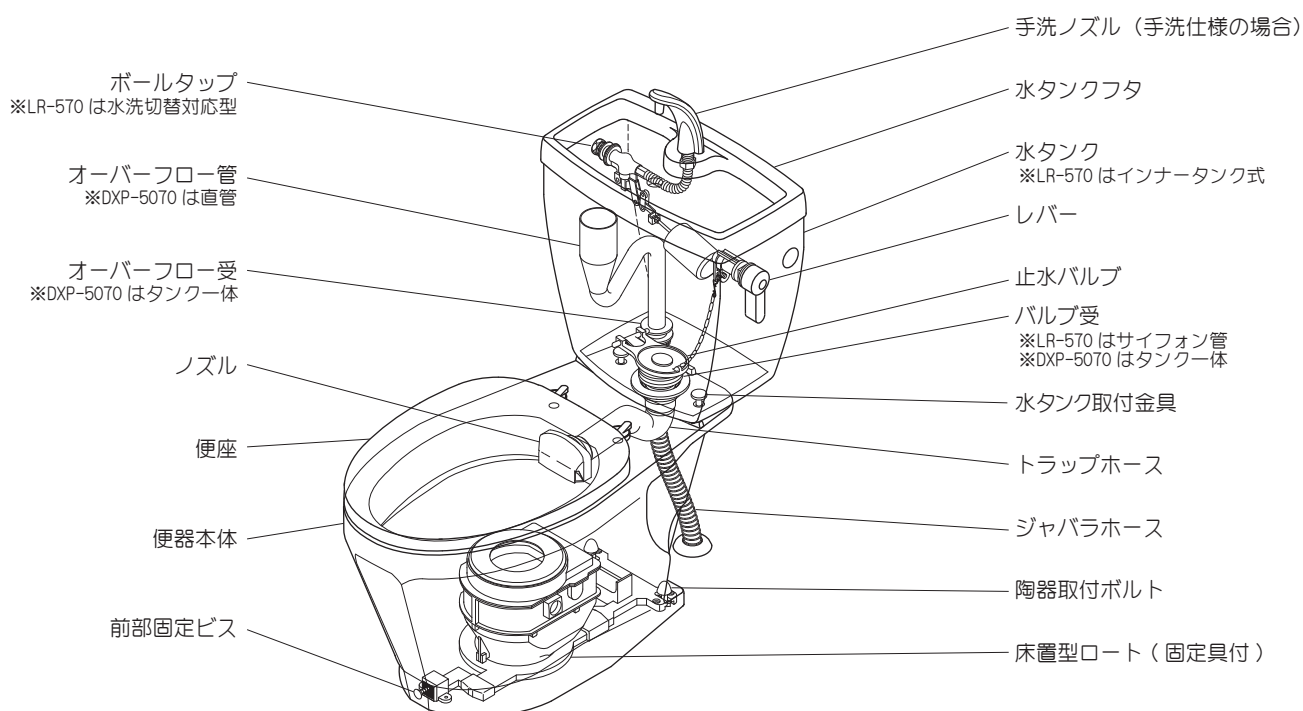
DX-570
LR-570



DXP-5070

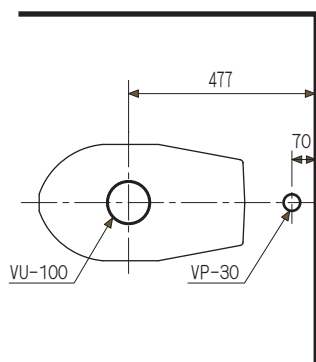


2. 各部のなまえ

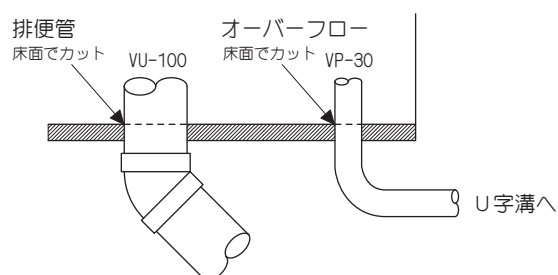
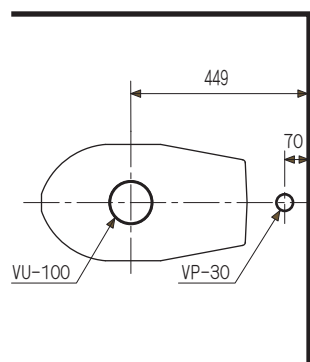


3. 床穴寸法図

DX-570・LR-570



DXP-5070



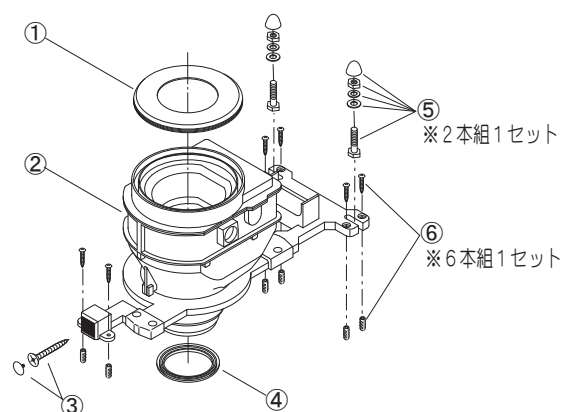
パイプは、必ず床面より
出っ張らないようにカット
してください。

4. 床置き型ロートセット組立図

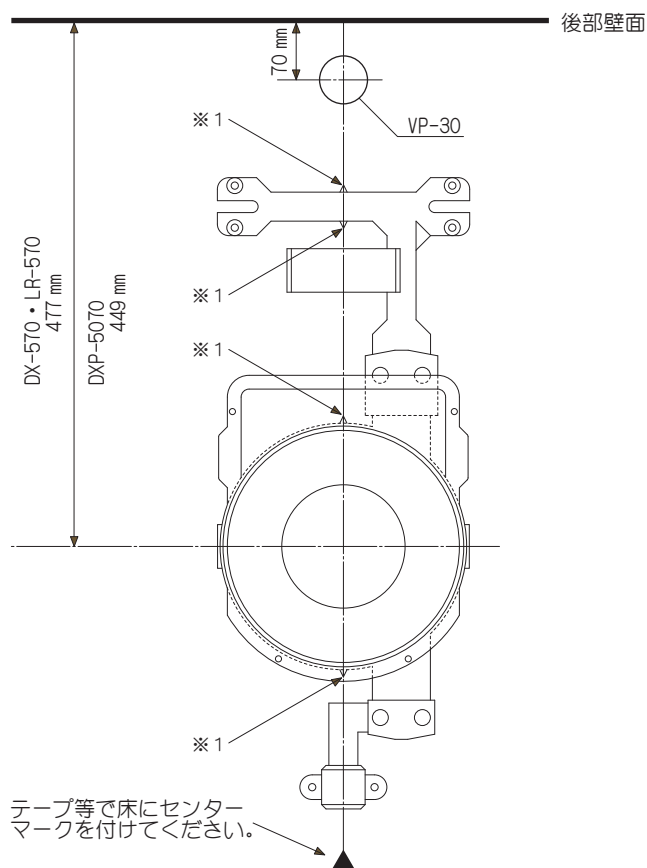
- シーリングパッキンは接続部からの水漏れと臭気漏れを防止するための部品です。万一取り付けをやり直す場合は、配管中にパッキンが残りますので、もう一度床置き型ロートに取り付けてください。
- 床置き型ロートに差込パッキンをしっかり差し込んでください。取り付けが不十分だと漏水の原因になります。万一便器の取り付けをやり直す場合は、便器の排便口に差込パッキンが残りますので、もう一度床置き型ロートに取り付けてください。

No	部品番号	部品名	数量	備考
1	AZ-05701	ロート用差込パッキン	1	
2	AZ-05203	570用床置き型ロート(固定具付)	1	
3	※AZ-06020	便器前部固定化粧ビス	1	
4	AZ-06269	シーリングパッキン	1	
5	※AZ-04510	便器取付ボルトセット	1	2本組
6	AZ-06016	床置き型ロート取付ビスセット	1	6本組

※印は色を指定してください。



5. 床置き型ロートセット取付

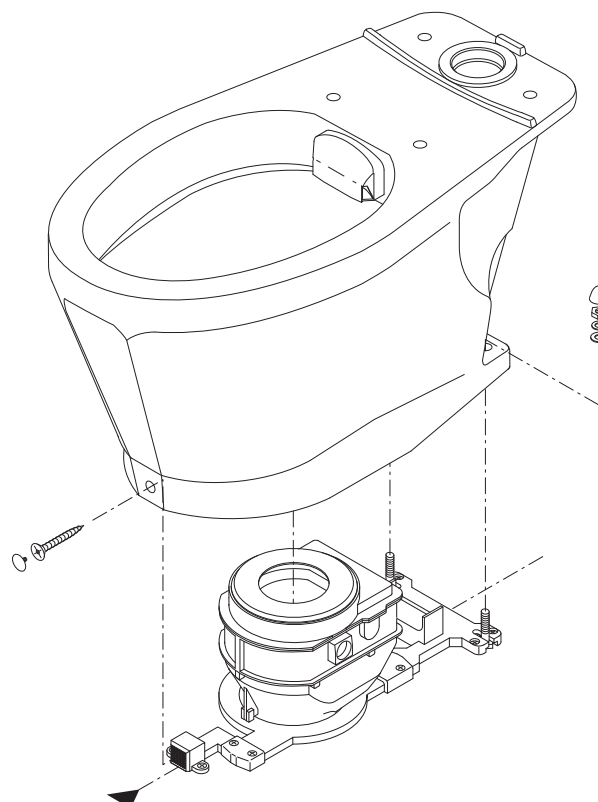


テープ等で床にセンター
マークを付けてください。

- センターを合わせ、ビスで固定してください。
- ※1: センター合わせマーク

6. 便器の取付

- 便器は前部ビス1本、後部ボルト2本で固定します。後部固定具にボルトを横から差し込んでおき、便器を取付穴とボルトに合わせ上からゆっくりと下ろしてください。後部をナットで締め、前部固定ビスを締めてください。



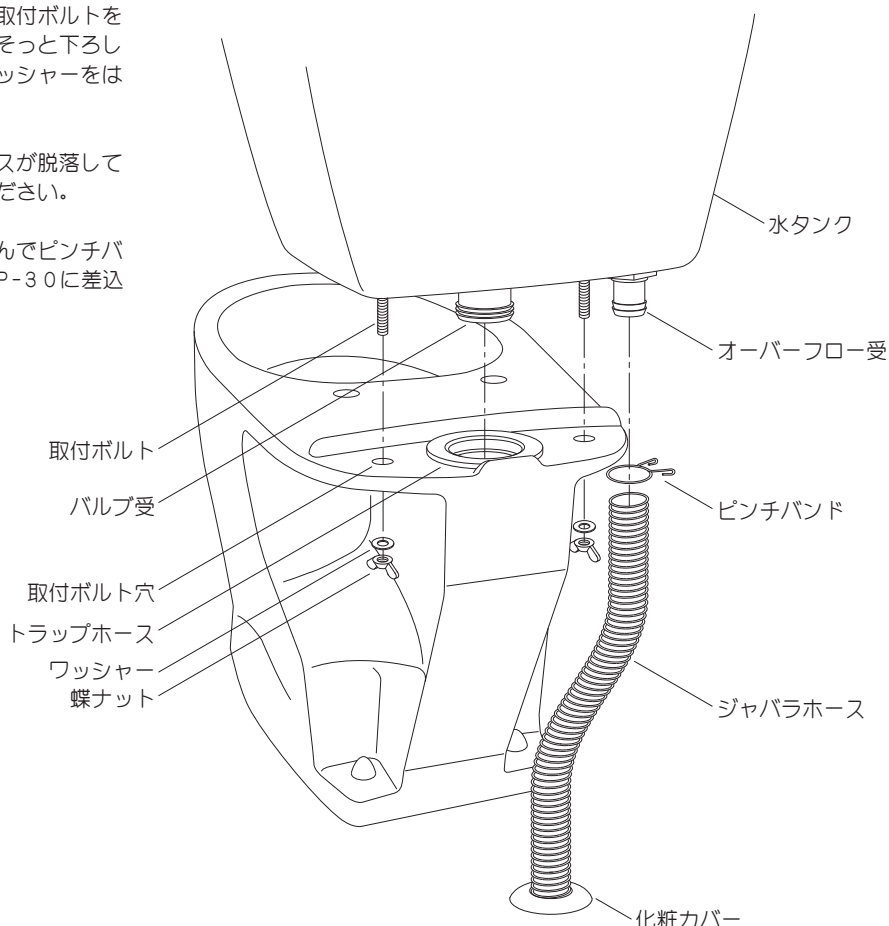
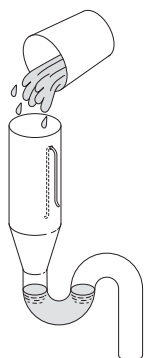
7. 水タンク取付

- 水タンクを便器に取り付ける際、水タンクのバルブ受と取付ボルトを便器のトラップホースと取付ボルト穴に合わせ真上からそっと下ろしてください。正しく組み込まれていることを確認してワッシャーをはめて蝶ナットで均等に締め付けて固定してください。

※水タンクを横からずらして取り付けるとトラップホースが脱落して水漏れの原因になります。必ず真上から取り付けてください。

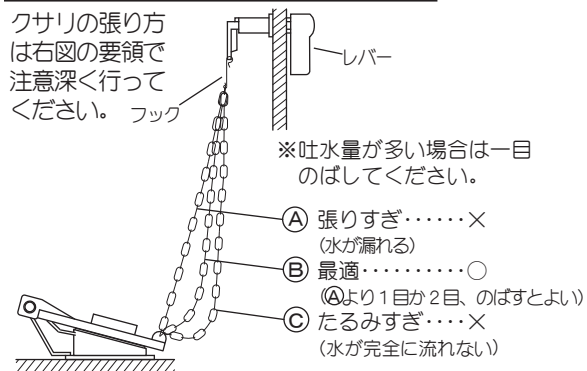
- 水タンクのオーバーフロー受にジャバラホースを差し込んでピンチバンドで固定してください。ジャバラホースの先端部をVP-30に差し込み化粧カバーを床面まで下ろしてください。

※施工後、必ずオーバーフローパイプに水を入れてください。
オーバーフローパイプに付いている糸は外さないでください。
DXPには糸がありません。



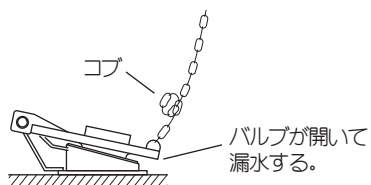
8. 止水バルブの調整

各種共通 排水調整とクサリの張り方



クサリを張るときの注意

クサリをねじったまま張るとコブの原因となりクサリが短くなって止水不良となる。

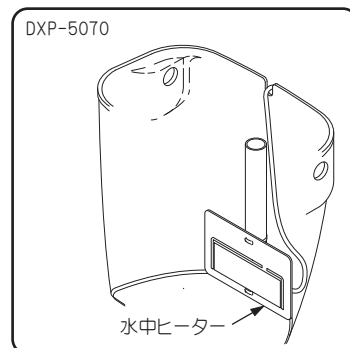
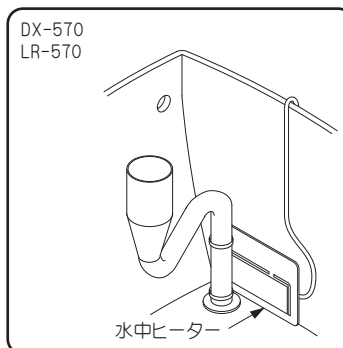


9. 便座取付

- 便座に付属されている施工説明書をご覧ください。

10. Fタイプ 水中ヒーター取付

- 水中ヒーターはオーバーフローパイプに取り付けてあります。止水バルブとボールタップに接触していないか確認してください。



凍結防止ヒーター付をご使用の方へ

- 防寒ヒーター(水中ヒーター)をご使用の場合は、寒冷の時期には電源を入れたままにしておき、暖くなったら電源を抜いてください。
- このヒーターは-5℃まで耐えられます。-5℃以下になるような場合は、水抜きによる凍結対策を行ってください。
- 長期不在する場合は、電源プラグを抜いてください。凍結時期の場合は、水抜きによる凍結対策を行ってください。

1. 設計図

配管注意事項

1. 配管材料

- ①管の外観・形状・材料は、JISK 6741(硬質塩化ビニール)によるものとし、肉厚は、汚水館にあっては2mm以上、排気管にあっては1.5mm以上であること。
- ②継手は①に準ずるものとし、汚水管用は、汚物の流下に支障のない形状・構造を有するものであること。
ただし、継手の肉厚は、ブロー成型品に限り、少なくとも①の80%とすること。

2. 汚水管

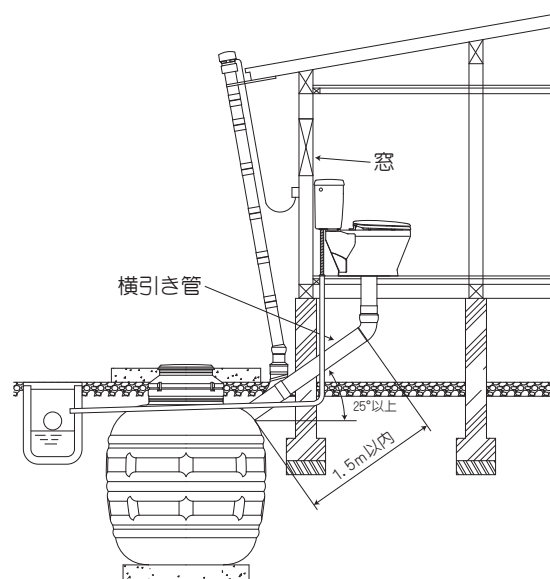
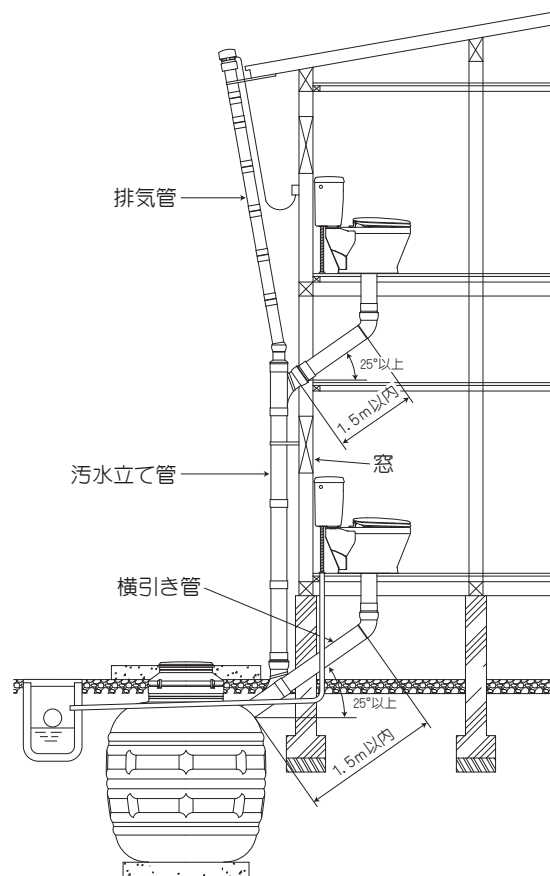
- ①汚水管の関係は、呼び径100以上とすること。
- ②横管の管長(実長)は、1.5m以内、勾配は25°以上とすること。
- ③エルボの個数は、極力少なくすること。
- ④配管等の接合部は、十分な耐久性、水密性、気密性を有すること。

3. 排気管

- ①管長(直管実長)が1.5mを超える汚水立て管を設ける場合は、その上部等から排気管をとるなど適切な排気装置を設けること。
- ②排気管の先端には、排気トップ等を設けること。
- ③排気トップ等は、防臭機能に支障を来さない性能であること。
- ④排気トップの下端には、建物の出入口・窓・換気口などの上端から600mm以上高い位置に設けること。
- ⑤排気管の管径は呼び径50以上とすること。
- ⑥排気管の接合部は、十分な耐久性、気密性を有すること。
- ⑦管長(直管実長)が1.5m以下の汚水立て管で排気管を設ける場合は、②～⑥と同様の施工をすること。

4. 配管の通水試験

工事完了後次のような通水試験を行うこと。
10リットルの水を1回以上流して漏水の有無を調べる。



ロンシール機器株式会社

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-6・東邦センタービル2F
☎ 03(3862)9825 FAX 03(3862)9810

ホームページアドレス <http://www.lonsealkiki.co.jp/>

札幌営業所 〒060-0063 札幌市中央区南3条西12丁目325-2番地・キャピタルビル204号 ☎ 011(272)1013(代)
仙台駐在所 〒984-0037 仙台市若林区蒲町字東29-1・ホワイトキャッスル蒲町ビレジA-105 ☎ 022(294)1120(代)
東京営業所 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-6・東邦センタービル2F ☎ 03(3862)9817(代)
大阪営業所 〒532-0002 大阪市淀川区東三国4-1-5-12・シオザキビル2F ☎ 06(6397)6502(代)
福岡営業所 〒815-0041 福岡市南区野間1-1-19・高宮駅前ビル501 ☎ 092(552)1322(代)